

## 令和2年第2回長南町地方創生総合戦略推進委員会

記録者林

日 時：令和2年10月23日（金） 午後1：30～午後2：30

場 所：庁舎分館2F第1会議室

出席者：池田委員長 手嶋委員 中村委員 田中委員 磯野委員 丸島委員  
中橋委員 鈴木委員

欠席者：坂本委員 實原委員 堤委員 織本委員 齊藤委員 松野委員  
山崎委員

事務局：町長 （企画政策課）田中課長 渡邊係長 林  
（栲ぎょうせい） 木戸

### ①第2期長南町まち・ひと・しごと創生総合戦略（案）について

・人口ビジョン（案）について説明（趣旨、町の現状、課題、人口目標）

（質疑・意見）

委 員： 転入出の現状の説明があつたが、老人ホーム入所のための移動はカウントされているのか。今後、老人ホームなどを充実することが、雇用を生み、地域に人を呼ぶことにつながるのではないかと思う。老人ホーム設立が地域に及ぼす効果も、検討するべきではないだろうか。

事務局： データについては、国勢調査はカウントされている。住民基本台帳は、異動手続きがされていればカウントされるが、一律ではない。

事務局： 議会のほうからも総合計画に対してではあるが、高齢者が多い現状を踏まえて、高齢者が輝くような施策展開ができないかとは指摘いただいている。今後そうしたことも検討していく。また、総合戦略は性質上どうしても若者を焦点にした書き方になるので、高齢者に関することは総合計画で記載していきたいと考えている。

委 員： 高齢者を積極的に受け入れようという趣旨ではなく、高齢者に関する事業をまちの活性化につなげる視点も必要ではないかということ

申し上げているので、検討いただきたい。

事務局： ご指摘については、総合計画や個別計画の中で、位置付けていく。

委員： 社会増減の推移の中で、社会減の少ない年が何度かあるが、要因については分析しているか。

事務局： 様々な指標から検証はしたものの、要因の特定には至っていない。

- ・まち・ひと・しごと創生総合戦略（案）について  
第1期総合戦略からの変更点を中心に説明。

（質疑・意見）

委員： 3点要望したい。

1点目は、現在長南町は東京家政大だけでなくマイナビや誘致企業など、町外からの企業等が参入してきている。今後も重要な観点だと思うので、戦略の基本的な考え方として、パートナーシップについて掲げていただきたい。

2点目は、ICTの活用が重要な観点になってきており、Society 5.0を見すえた政策的視点が新たに入ったのは適切なことだと思う（P.61）が、そこに位置付けられている事業が窓口事務や防災拠点のWi-Fi導入など、大きな視点に対して些末に思える。もっと抜本的な通信環境の改善など、Society 5.0への対応に見合うものを位置付けられないか。

3点目は、SDGsについてだが、長南町は自然豊かでまさにこうした政策的視点に適したまちだと思うので、もっと積極的な書き方はできないか。たとえば基本目標2のSDGsがひとつだけになっているが、もっと含められるものがあるのではないか。

3点目は具体的にどのような書き方ができるか私自身が提案もしづらいので、検討のうえで難しければ、反映されなくてもよいが、1、2点目については検討いただきたい。

事務局： 1点目については、P.51の「東京家政大学協働事業」の中にそうした視点を加えたいと思う。2点目については、P.61の「防災拠点等におけるWi-Fi環境の整備」を、もう少し広範な視点の記

述になるよう検討する。3点目については、総合計画の記載とあわせて、どのように記述するか検討する。

事務局： 基本目標2のSDGsは検討する。また、全町民を対象にしたICT環境について、記述を検討する。

委員： 1点目のパートナーシップについては、東京家政大に対してだけの話ではないので、個別の事業の記述を検討してもしかたがない。基本的な考え方に加えていただきたい。

委員： コロナ禍の休校で、ご家庭の通信環境格差なども影響して、子どもたちの学習に格差が出ている。コロナ禍で世界的に影響が出ている中、マイナスをプラスにするような取組みが必要だと思う。何かお考えはあるか。

事務局： 総合戦略ですべてに対して個別具体的な対応を言えるわけではないが、（マイナスをプラスにするという意味では）たとえば、P.52に空き家・空き店舗に関する事業を2つ掲げている。

委員： 子どもたちはICTへの順応はとても早いと感じるが、環境がネックになっている。また、コミュニティスクールも地域からの色んな声があって、先生や子どもが混乱しているという意見も聴いている。学童が新たにできることになっても教育委員会が知らなかったりして、横のつながりがあまりできていない気がする。

役場が教育に介入していくのはなかなか難しいと思うが、もっと当事者である今の子育て世代のニーズを受け入れてほしい。声の大きい人の意見を優先して、そこができていないと感じている。

町長： 毎月課長会をやって情報共有はしているつもりではいる。また、行政も、町民の意見をなるべく聴きながら政策を進めようとはするのだが、様々なお意見があり、中には声の大きい方もいる。結局、聴取に時間をとられて執行が遅れる要因になる懸念もある。手法については、継続的に検討する余地があると感じている。

委員： P.56の「ふるさと意識を育む長南町教育の推進」など、具体的に何をするのか見えてこない事業も多い。もう少し先のことを見すえ

て、細かく書けるといいと思う。

町 長： 個別計画にはもう少し細かな記載をすることになる。

委 員： 記載も重要だが、形になった計画を説明する場もあっていいと思う。コミュニティスクールが何をやっているのかわからないという声も聴く。丁寧な説明が重要だと思う。

## ②その他について

- ・意見照会について

意見がある場合、11月6日（金）まで

- ・次回会議について

11月25日（水）13：30～

第一会議室にて

午後2：30閉会